



架け橋

八雲町立熊石中学校 学校通信 第 5 号
令和5年8月24日発行

校 訓
自主 (知) 協調 (徳) 壮健 (体)

学校教育目標

自ら学びを広げる賢い生徒 (知)
自他を尊重し未来を拓く明るい生徒 (徳)
活力あふれる心身共にたくましい生徒 (体)

E-mail : kumaishi-jh@town.yakumo.hokkaido.jp
TEL : 01398(2)3396 Fax : 01398(2)2446

熊石中ホームページはこちらから → <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/kumaishi-jh/>



「ヒロシマにて」

校 長 田 手 淳

30日間の夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。生徒の皆さんは、今年の夏休みはどのように過ごしたのでしょうか。思い出深い夏休みとなりましたか？私は貴重な体験をさせていただきました。

その貴重な体験の話の前に、一旦逸れますが、私の父の話をしていただきます。私の父は1930年生まれで、今から6年前に他界しております。終戦の年は15歳。父は私に戦争の話をお話してはくれませんが、私が15歳になった時にぼつりと、「俺は、あと一年早く生まれていれば、特攻隊に入っていた」と一度だけ言ったことがありました。父が亡くなる前にもう少し、その頃の話をお話しておけばよかったとも思うのですが、それ以上はこの話に触れてはいけないタブーのようなものも感じておりました。

父は、何かおいしいものを食べたときに、ふと思いつくのか、「戦時中はとにかく食べるものがなかった」という話だけはしました。終戦のころに食べていたのは、芋の根のようなものが僅かに入っているだけの雑炊。雑炊と言えば聞こえはいいが、あれはほぼ白湯だったと言っておりました。兄妹の多い父にまわってくる食べ物は少なく、ひもじい思いをしたようです。私は幼い頃、父のこの話に「やれやれまた始まった。」程度の感想しか持っておりませんでした。無知な私には、その話の表面しかとらえることができず、「好き嫌いをせず残さず食べろ」程度の話と捉え、話の本質を想像できなかったのです。

さて、貴重な体験についてです。この夏、長年思っていたことがようやく実現できたのです。それは、八雲町が毎年行っている平和学習事業で、広島派遣団の一員として、町内各中学校から選ばれた代表生徒5名とともに、8月6日の平和記念式典に参列できたことです。本校からは3年の西田さんが参加しました。

8月5日は、ボランティアガイドさんによる原爆ドーム周辺の説明を受け、8月6日いよいよ平和祈念式典です。原爆投下から78年目のこの日の朝、広島は快晴で、青々とした空の色が印象的でした。78年前の8月6日も朝から天気が良く暑い日だったそうです。そう思うと、美しく澄んだ美しい空なのですが、78年前の出来事と重なり、空の青さにまで、どうしようもなく切なく感じるのです。

8月7日には、資料館の見学も致しました。

建物疎開で動員された中学生が持っていた弁当箱が展示されております。弁当の中身は米・麦・大豆の混合ご飯と油炒め。爆心地から600mの場所で骨になった



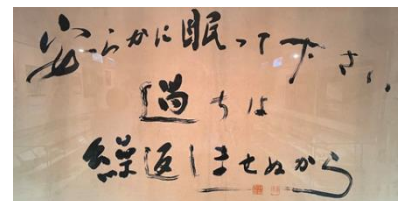
遺体を彼の母親が発見した時に、遺体の下にこの弁当箱があったそうです。暑い最中、建物疎開の重労働をするわが子に、せめて弁当だけでもおいしいものを食べさせてあげたいと、貴重な食材をかき集めて作ったであろう母親の気持ちが今の私には理解できます。私の父の話から想像するに、この弁当の中身は作りたくともそう簡単には作れない中身です。原爆投下は、午前8時15分。この母の愛情がこもった弁当を彼は食べることはできませんでしたが、遺体の下にあったということは、親の愛をしっかりと受け止めていたのだらうなということ、想像できます。しかし、同時にそのわが子が発見した時の母の思いを想像するに、何とも惨たらしいことだとも感じます。原爆資料館には、他にも数多くの悲惨な資料が展示されておりますが、私はこの弁当

箱の前で一番涙があふれてきてしまいました。

「人は体験した事からしか学べない。」とはよく言われる事ですが、人はもう一つ、体験と知識をつなぎ合わせ、未体験の事を想像することもできるはずで

戦争をしてはいけないことくらいは、多くの人が理解しているはずで

す。それでも戦争が無くならないのは、戦争をしてはいけないという理念よりも、自分の考えを押し通すエゴを優先させるからかもしれません。「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返させぬから」原爆死没者慰霊碑に刻まれた言葉が、今の私に強く突き刺さります。平和に勝る幸せなどありません。やはり平和を守る意識を高めるためには、想像力を磨くことが何より大切だと広島で強く感じました。



社会福祉協議会熊石支所体験ボランティア

夏休み中の本校生徒5名が参加

7月25日(火)～27日(木)の3日間、くまいし保育園にて、夏休み体験ボランティア事業が行われ、5名の生徒が参加しました。この事業は、八雲町社会福祉協議会熊石支所が主催し、行われるのはコロナ感染対応で4年ぶり。一日3名ずつ保育園へ伺い、保育士のお手伝いを体験しました。参加した生徒たちは、元気の園児たちに囲まれ、鬼ごっこをしたりプールでの水遊びをしたりと楽しく交流する中で、保育の現場と福祉について知るよい機会としていたようです。



夏休み学習会

夏休み中の8月22日(火)23日(水)に、休み前の学習の振り返りや、進路実現に向けた苦手教科克服を目的に、「夏休み学習会」が行われました。久しぶりに顔を合わす友達とのおしゃべりもそこそこに、夏休み中の宿題を広げ取り組んだり、互いにわからないところを教え合ったりする姿が見られました。31日(木)予定の前期末テストで、成果が発揮されるよう願っています。



スマホ・携帯安全教室

7月18日(火)、KD D Iの山田さんを講師に迎え、生徒と保護者を対象に、インターネットの上手な使い方や、SNSやメールの適切なコミュニケーションについて講話いただきました。オンラインゲームに潜む危険や、常にスマートフォンに振り回される生活の問題点について改めて考えを深めていました。



八雲町平和学習事業参加

本校からは3年生の西田さんが代表団の一員として参加しました。代表団は町内の中学生5名で構成され、8月5日～7日までの3日間、広島を訪れ、平和祈念式典に参列、原爆に関する施設見学や、ボランティアの方からお話をうかがうことができました。また、15日に八雲町シルバープラザで行われた八雲町出身戦没者追悼並びに平和祈念式に参列しました。

彼の貴重な経験は、9月30日に開催の本校文化祭にて、全校生徒へ報告される予定となっています。



9月の行事予定

- 1日(金) ピアサポート(八雲高校) 避難訓練
- 3日(日) 北海道ジュニア陸上競技大会
- 4日(月) 第3回なかよし運営部会 文化祭活動③
- 5日(火) 常任委員会
- 6日(水) 6時間授業 文化祭活動④
- 7日(木) 5時間授業 部活動停止 小中一貫合同研修会
- 8日(金) 文化祭活動⑤ 全校集会
- 11日(月) 文化祭活動⑥
- 12日(火) 3年生放課後活動なし
- 13日(水) 3年生学力テスト(総合A) 職員会議 部活動停止 第2回学校運営協議会
- 14日(木) 文化祭活動⑦⑧ 文化祭係会議②(放)
- 18日(月) 敬老の日
- 19日(火) 3時間授業 部活動停止 文化祭活動⑨ 町教育研究会
- 20日(水) 文化祭活動⑩
- 21日(木) 文化祭活動⑪⑫ 文化祭係会議③(放)
- 22日(金) 文化祭活動⑬ 移動図書
- 23日(土) 秋分の日
- 25日(月) 文化祭活動⑭ 開閉会式リハーサル(放)
- 26日(火) 文化祭活動⑮ 文化祭有志発表リハーサル(放)
- 28日(木) 文化祭総練習
- 29日(金) 文化祭前日課・会場設営
- 30日(土) 文化祭